

議会ひえづ



12月定例会

P2~3 村民インタビュー

明日を創る中・高生の考えは

P4~5 白熱 ぎかい懇談会

など

雪の中の一斉放水

議会ひえづが
ご覧になれます



生の考えは ってどう!?



Q. 日吉津にあれば良いと思うことなどありますか

松田さん 駅がほしい。バスはほとんど乗らないですし、自転車でどこまでも行きますよ。行く所によつて431号を通り、日

Q. 将来日吉津に帰つて来て、やってみたい事などありますか

島崎さん 帰つて来てほしい。

Q. 日吉津にあれば良いと思うことなどありますか

伊藤さん 淀江に住んでいますが、こういう場所がないので来させてもらっています。

Q. 将来日吉津に帰つて来て、やってみたい事などありますか

山下さん 前に住んでいた所より居ごちが良い。学童保育が他より豪華だと思う。

伊藤さん 淀江に住んでいますが、こういう場所がないので来させてもらっています。

伊藤さん ぼくは政治に興味があつて、そちらの道も考えていま

Q. 将来について考えている事はありますか

島崎さん いいところは、ショッピングモールとか多くあるし、人口が増えて栄えていると思う。

Q. 将来日吉津に帰つて来て、やってみたい事などありますか

松田さん 引っ越したつた。



河村 謙伸さん

河村さん 今考えてるのは神戸に行く事です。何度も行っていますが、街の雰囲気が気に入つていて、大学もあちらに行こうと考

Q. ヴィレステの居ごこちや日吉津のいいところは

島崎さん 家から近くで友達と一緒に勉強できるところかな。

Q. ヴィレステでの学習環境はどうですか

河村さん 子どもたちが多い時はちょっとうるさく思うけど、それは理解してやつてま

Q. ヴィレステでの学習環境はどうですか

河村さん とても便利でいいです。

Q. ヴィレステでの学習環境はどうですか

河村さん 箕中3年の男子生徒3人組を発見。顔出しがN Gで少々残念でしたが、貴重な意見をいたきました。

Q. 将来について考えている事はありますか

河村さん とても便利でいいです。

Q. ヴィレステでの学習環境はどうですか

河村さん 子どもたちが多い時はちょっとうるさく思うけど、それは理解してやつてます。

答えてくれた皆さん

高1	伊藤 河村	悠生 謙伸
高1	島崎	さん
中3	島崎	さん
中3	山下	さん
中3	松田	さん

高1	伊藤 河村	悠生 謙伸
高1	島崎	さん
中3	島崎	さん
中3	山下	さん
中3	松田	さん

明日を創る中・高 “日吉津”

**突撃
インタビュー**

河村さん 発展しきず、自然も残つていい。今のところ、バランスが取れているよう感じています。



伊藤 悠生さん

伊藤さん イオンもマックも、何でもあるし、行政も黒字なのはうらやましい。日吉津だけズルく見えるかな。

Q. 今 日吉津村を見てどう思いますか

Q. これから村に必要なと思うものはありますか



河村さん 身近なところに体を動かせる公園があつたら良いと思います。

伊藤さん 夜帰る時、暗いので車の多い所を通りがちになります。友達からは、伯耆大山駅から日吉津に来るのが不便だと聞いています。なんとかならないですかねえ。

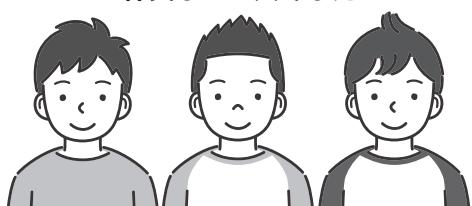
今日は中高生にインタビューし、率直な意見をいただきました。

ありがとうございました。

ヴィレステでは、多くの学生が自分達で静かで落ち着いた環境をつくり、学習に取り組んでいます。一人一人が目標をもつて挑戦しようとすると姿には、いつも感心させられます。

自分の力を最大限のばそうとする姿、地域や仲間のために貢献しようとする姿、「僕たちに任せて下さい」と窓口で語る姿、若者達の自立、貢献の心に感謝する毎日です。

仲良しの3人でした



快く答えてくれました

将来の事はまだわからないけど、国家資格はほしいと思う。

山下・松田さん



教育長のコメント

※第184号の村民インタビューで「ヴィレステ運営協議会」としていましたが、正しくは「ヴィレステ運営審議会」のまちがいでした。おわびして訂正します。

懇談会

今年も11月8日から30日にわたり全自治会公民館で、多くの方に参加いただき開催しました。貴重なご意見やご提案をいただきました。一部を紹介させていただきます。

多くの意見をいただきました

議会に対して

- 現在の議員は全員60歳以上、限られた財源・税をどう使うかも若い世代に議論してほしい。
- ぎかい懇談会をヴィレステひえづで開催してみては。
- 議会の議案や課題、陳情などについて報告があるが、そこに至る議員間の議論も村民に見えるようにしてほしい。
- 今後の村の財政、税の負担や多額の予算をつぎ込む公園事業など議員がしつかり議論することが大切だ。
- 議員のなり手不足に対する対して議員報酬を上げて、定数を減らしてはどうか。

海浜運動公園について

- 公園再整備について工事車両の動きなど吉自治会には説明をしてほしい。
- 海浜運動公園について



自転車通学の中学生

箕面屋中学校について

- 公園完成後、施設の維持管理などもよく考えて検討されたい。
- 公園再整備について工事車両の動きなど吉自治会には説明をしてほしい。
- 中学校の組合立の廃止や業務委託などの問題は、経緯や現状説明をすること。
- 中学校の委託については慎重に進めるべき。
- 日吉津村で小中一貫校を作れば将来的にも良い。



工事中の海浜運動公園

旧うなばら荘について

- 旧うなばら荘について
- 現状について、村民に対してわかるよう広報してほしい。
- 計画は実行されるのか、計画不履行時にはどんな罰則があるのか。
- ボイラーガ使えない状態は、購入時確認されているのでは。
- 議会が企業から資料方が良い。



現在の旧うなばら荘

社協・デイサービスセンターについて

- 施設を利用されている方に説明をしないまま、指定管理や業務委託がされている。詳細
- 村内を走ることは商業施設で賑やかになつた本村が、通過交通となりマイナスではないか。
- 日吉津村としてはそのルートについては、反対と表明することも必要ではないか。

高規格道路について

- 相談できる窓口はあるのか。
- 業界のことを議会も勉強して、行政に目を光させてほしい。
- センターの防災対策をしつかりとしてほしい。
- 村民としては、日吉津村を分断する高規格道路に疑問視する意見が多くある。
- 日吉津村としては商業施設で賑やかになつた本村が、通過交通となりマイナスではないか。
- 日吉津村としてはそのルートについては、反対と表明することも必要ではないか。

白熱

ぎかい

村づくり公社について



新鮮市場の空き店舗

- 「けい畔を作ろう」「5反田んぼを作ろう」と言うだけで実行されない。日吉津村としてどうするのかが重要。
- 若い人を雇い一年中家や野良猫の対策を行
- ひえづ物産や村づくり公社、物産館などの関係はどうなっているのか。
- 新鮮市場の空き店舗の利用や特産品開発などの詳細を確認したい。
- 日吉津村の職員は特産品の開発にかかわっているのか。

農業問題について



狭い田んぼ

- 住民票はコンビニで取得できるが、戸籍や印鑑証明など取れないのはなぜか。
- 固定資産税の税率1・6%は高い。税率を下げてほしい。
- 役場職員は村在住者ではない人も多く、「樽屋がどこにあるかも分からぬ」職員もいる。現地確認するなど対応を。
- 交通安全対策をしつかりを行い、危険個所の確認などを交通安全対策審議会でも行うこと。
- イオン誘致の際には周辺の交通協議があつた。富吉北地区は全体的な検討が不十分、村や議会がしつかり検討してほしい。
- 今年度の除雪は43号北側店舗周辺なども含め、例年通りではなく的確に行うこと。

役場について



懇談会での様子



的確な除雪作業を

交通対策について



懇談会での様子

議会や行政へいただいた意見については、今後の議会活動に活用させていただきます。

働けるような農業、年間ローテーションで採算性のあるシステムにすること。

● 村の農家に対する対策がない。海浜公園に多額の予算をつけながら、農家支援については変わらず、予算もない。

政で検討すること。
● 蚊屋島神社社務所側の大木が腐り、倒れる可能性がある。行政で対応できないか。

● 副村長やアドバイザーなどの費用対効果の説明がない。アンテナショップの周知をしてほしい。

● 固定資産税の税率1・6%は高い。税率を下げてほしい。

● 役場職員は村在住者ではない人も多く、「樽屋がどこにあるかも分からない」職員もいる。現地確認するなど対応を。

● 交通安全対策をしつかりを行い、危険個所の確認などを交通安全対策審議会でも行うこと。

● イオン誘致の際には周辺の交通協議があつた。富吉北地区は全体的な検討が不十分、村や議会がしつかり検討してほしい。

● 今年度の除雪は43号北側店舗周辺なども含め、例年通りではなく的確に行うこと。

追加補正
5,193万5千円

第8弾

ひえづ元

物価対策 1人あたり 1万円

討論

議案第49号 日吉津村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

反対 江田 加代 議員

子育て支援の財源調達に医療保険制度を利用すべきではない。

議案第50号 日吉津村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

反対 江田 加代 議員

第49号の討論を以て、50号の反対討論とする。

●賛否の分かれた議案（賛成：○ 反対：×）

※議長は賛否表明しない

議案番号	件 名	議決結果	斎田	加藤	江田	長谷川	前田	石原	河中	橋井	松田	山路
第49号	日吉津村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
第50号	日吉津村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—

陳情の審査結果

12月議会では3件の陳情を審査しました。陳情第11号は継続審査となりました。

陳情 「生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める陳情」 第10号

【陳情者】鳥取県生活と健康を守る会連合会 会長 安田 共子

委員長報告

討論なし

反対 加藤、長谷川、橋井、松田

本会議結果

採択

賛成 江田、前田、石原、斎田、河中

採択

陳情 「衆議院の定数削減に反対する陳情」 第12号

【陳情者】平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 村上 俊夫

委員長報告

不採択

反対討論 江田 加代 議員

選挙制度や議員定数は与党の独断で決めるべきものではない。

賛成討論 加藤 修 議員

議員の定数削減は当然だ。

反対

加藤、斎田、松田

本会議結果

採択

賛成

江田、前田、石原、長谷川、橋井、河中

*反対、賛成討論は委員長報告に対するもの。採決は陳情原案に対し採択、不採択とするもの。

県外視察

元気な地域商社や「夢と希望の教育」に学んだ

常任委員会ごとの県外視察、村づくりに活かすよう検討します

総務経済常任委員会

●期日 10月22日～24日

●視察先 高知県日高村、徳島県板野町



【視察概要】

- 日高村は、地域おこし協力隊OBらが設立した地域商社「一般社団法人ノッソン」と連携しながら、地域課題の解決や地域活性化を図っている。ノッソンでは、「ふるさと納税委託事業」「関係人口創出事業」「地域人材マネジメント事業」などに取り組み、成果をあげていた。
- 板野町では、特産の春ニンジンなどを活かした6次産業化を推進し、直売所・農業支援研究室・レストランを併設した「道の駅いたの」で販売している。この道の駅は、防災拠点としても整備され、簡易ベッドや1万8千食の非常食などが備蓄されていた。さらに移動式水素ステーションやヘリポート、耐震性貯水槽なども完備されている。



▲ノッソンの女性メンバーを交えて（日高村）

教育民生常任委員会

●期日 11月10日～12日

●視察先 兵庫県三木市・小野市、大阪府大阪市

【視察概要】

- 三木市は、移住定住を見すえ、平成20年「みきで愛（出会い）サポートセンター」を設置し、市民ボランティアの力を活かして100組以上のカップルを誕生させてきた。平成26年「縁結び課」を設置し、婚活のみならず、地方創生や移住定住など各課をヨコにつなげながら、意欲的に取り組まれていた。
- 小野市は、東北大学教授の川島隆太氏を教育行政顧問に委嘱し、脳科学の知見を活かし、出生時から脳（前頭前野）を鍛える「読み・書き・計算」を中心とした「夢と希望の教育」に、学校・地域・家庭で取り組まれていた。また「おの検定」という独自の学力検定を設けられていた。



▲フリースクール「プレイ・キューブ」の説明を受ける

出生時から脳（前頭前野）を鍛える「読み・書き・計算」を中心とした「夢と希望の教育」に、学校・地域・家庭で取り組まれていた。また「おの検定」という独自の学力検定を設けられていた。

- 大阪梅田のビルの一角に設置されたフリースクール「プレイ・キューブ」は、子どもの成長に役立つ遊具と環境を提供しているボーネルンド(社)が経営、子どもがやりたいことを納得いくまで探求させ、学びへつなげる取り組みがなされていた。

一般質問

村政を 問う



P.11



P.10



P.13



P.12

私はここに注目



P.15



P.14



P.17



P.16



加藤 修 議員

財政状況・行財政改革について

村長 新しい財源の掘り起こしをはかる



▲工事がすすむキャンプ場

Q

①指定管理について行財政検討委員会に検討を求めたのか。

②海浜エリア活性化計画の主な目的は。

③整備したエリアで村民の利用をどれくらいと見込んでいるのか。

④財政力指数は県下で3位、面積は一番小さなけれど一番豊かな村

と思っているが、財政力指数が下がってきていた。その要因と、どうすれば再浮上できるのかを考えを問う。

A

村長

①行財政検討

委員会には、検討は求めていない。しかし、第4次行財政改革プランを作るときに検討をしてもらっている。

また、行財政推進委員会でプランのPDC Aを行うなかで、点検を行う。

②主な目的は、村民にぎわいの場、気軽に集える憩いの場作りである。

公園整備では気軽に利用できる憩いの場、利用できるよう、利

用者数の増加により、利用者の増加により、にぎわい・村の活力につながるエリアにどうすることをコンセプトにしている。

③令和2年度のキャンプ場の利用状況では、村民利用が7%であった。より利用しやすいように、グランピングやオートキャンプサイトを整備し、キャンプ用品のレンタル等を行い、手ぶらキャンプができるようにする。

キャンプ場では、村民料金を設定し、より利用しやすい環境の整備を行う。

経常収支比率は令和6年度が約81%。これは、毎年かかる物件費などが高騰しているためである。

子育て拠点施設は、公債費率は、令和6

年度で10%。25%を超えると早期健全化基準を超えてしまう。

将来負担率は、令和6年度1・4%。これは退職手当増の見込みがあるためである。

※早期健全化基準以上となつた場合、早期健全化団体として自主的に財政の健全化を図る必要がある。



▲沈下した建物をかさ上げ



松田悦郎 議員



▲どの児童・生徒も元気に登校したい

不登校防止の取り組みは

教育長 子どもの学ぶ機会を確保したい

Q 文部科学省が公表した児童生徒の不登校調査結果が発表された。

県内では前年度より減少しているが、6年生が多いと報告されている。村内でも起こりうる不登校の防止対策についてどうか。

A 教育長
全国・県の不

本村の不登校の出現率は、全国・県の半分程度である。

本村の取り組みとし

ては、学校以外で学習を認めた教育機会確保法で、子どもたちが安全と判断した場合、学校に行かなくとも欠席扱いとならなかつたコロナ禍の影響が指摘されている。

Q 2月1日はフレイルの日である。社会性を維持し、フレイルの進行を防ぐために村として健康長寿支援の取り組みは。

Q 健康長寿の取り組みは村長 フレイル予防を強化したい

A 村長
フレイルとは

加齢に伴い筋力など身体的部位や気力・活力の精神的部分が低下していく状態をいう。

防や治療を適切に行えば、健康の維持や回復が可能な状態である。

今後は、村包括支援門職による高齢者の健

では、①福祉保健課との連携、②幼保小連携の充実、③教育支援センター・ふらつとルームの設置、④スクールソーシャルワーカーの配置、⑤学習支援員の配置、⑥柔軟な教科担任制である。

しかし、児童や家庭のニーズは複雑化しており、現状の対応が最善かどうか、常に見直す必要がある。

今後も寄り添いながら子どもの学ぶ機会を確保したい。



▲フレイル予防教室の皆さん

康管理と生活相談の機会を増やす。

まちの保健室で取り組んでいる「ユースボーッ」や「まくれんカラダ体操」を身近な公民館で実施し、フレイル予防の取り組みを一層強化していきたい。



前田 昇 議員

村政への村民参画の場の確保を 村長 村民の意見を聞く場を設けたい



▲説明会から村民参画の場へ

A 現在の第7次総合計画は、ますます簡略化されている。5年ごとの中間見直しにあたり、村民参画の場をいかに確保するか。

A 村長 8月の地方創生推進会議にて総合計画の6年生説明会

からは、例年の質問に加えて、数々の要望も出してもらった。その後の対応については検討したい。

A 村長 今年の6年生

からは、例年の質問に加えて、数々の要望も出してもらった。その後の対応については検討したい。

A 村長 令和4年に職員研修を行った。いろいろな際に立ち返るよう努めている。来年度は研修を計画したい。

計画の素案を作成し、現在パブリックコメント中。その後審議会にて決定したい。

A 村長 遅れている男女共同参画計画の見直しについては、いかに。

A 村長 海浜運動公園再整備と運営について

直當から指定管理に変更され、現在パブリックコメント中。その後審議会にて決定したい。

A 村長 民間のノウハウを活かして、イベントや体験メニュー、PR活動が充実し、予約や支払いも利便性が高まるので、利用者へのサービスが向上する。

A 村長 詳細は未定だが、村の情報発信、交流の場、レンタサイクルの運用など、必要なスタッフは常駐することになる。

Q 現在の第7次総合計画は、ますます簡略化されている。5年ごとの中間見直しにあたり、村民参画の場をいかに確保するか。

Q の6年生説明会

では、村ホームページなどを紹介し、子どもたちの参画が村の施策へつながるよう、取扱いを工夫されたい。

画についても検討いた

で出された質問や意見

Q 自治基本条例

には、役場の義務規定が数々定められ



▲管理棟はビジターセンターへ改修

Q 海浜運動公園は、来年度、村

Q 管理棟がビジターセンターへ改修されつつある。

Q ターセンターと

して改修されつつある。



斎田光門 議員

村内の道路網整備の状況は

村長 道路の混雑状況など必要に応じ 交通対策を検討



▲混雑する日吉津交差点

④中学校組合の問題を
村長はどう対応するか
創設は。
③公立義務教育学校の
度、箕面屋中学校生徒
は429人、日吉津村
①令和7年

③仮に本村で義務教育学校を創設すれば、児童生徒数370人前後23学級の規模となる。新たな敷地、校舎など相当な建設費が必要と見直しが増額の要因である。

組合ではなく事務委託 方式に変える提案がさ
れている。事務負担の 軽減も含め事務委託は
一つの方法で、今後も
説明会を開催し皆様に
ご理解いただけるよう
説明していく。

公立義務教育学校の創設を

▲村立義務教育学校の検討を



河中博子 議員

機構改革の現状とその成果は 連携がスムーズになつた



▲整備が進む海浜運動公園

A 地方創生2・0 国の地方創生交付金を活用して、海浜運動公園の再整備事業をしている。

また5月には、ひえづ村づくり公社を設立し、これも地方創生交付金を活用して、ふるさと納税にもつながっていくような特産品の開発、販路開拓などを進めている。

A 総合政策課をなくし総務課に吸収した必要性は何か。

ひえづ創生推進室と参画と協働の村づくり推進室は、それぞれが連携することで相乗効果がより認められるとしている。

A 革で人材育成が成果を上げているか。

令和6年5月に、従来の人材育成基本方針を改訂し、基本理念、果たすべき役割と必要な能力等を求め

Q 村民に副村長は一体何をしておられるのですかと聞かれる。役割と成果は。

A 副村長という役割は、具体的な成果が明確に表れる職務ではないと考えているが、

現状として、村長が出張等で不在の時など、業務が停滞することなく差配をし、役場業務を回してもらっている。

Q の取り組みと現状は。

他にも、今年3月オープン予定の新鮮市場内のアンテナ店舗・ひえづマルシェの準備も進めている。ここでは地域の產品を使ったソフトクリーム販売など、新たな取り組みに期待している。

がなかなかできない状況もあつたが、今は一つの課の中でやるので、非常にスムーズになっていると考えている。

このたび機構改革を行い、課の中に室ができるという状況ではあるが、室長になる人たちに力をつけていただきたいし、一緒に働く職員も、重要な業務を遂行していく中で、しっかりと力をつけて

▲より一層の人材育成を





石原浩明 議員



▲通路に手すりがあれば

ヴィレステ通路に手すりを

村長 現時点では必要と判断していない

Q ヴィレステひえづは、開館10周年を迎え、村内外から多くの方に利用されているが、より利用しやすいように通路に手すりをつけてはどうか。

A 村長 ヴィレステに意見箱を設けているが、手すりがないために利用が困難であるという意見は届いていない。

Q バリアフリー法が改正されたが、ヴィレステひえづを含め村内施設の点検はしているか。

A 村長 ヴィレステひえづは、10年前の開館時に、各階に車いす用

見もあり、現時点で手場に車いす専用スペースを2台分設けるなど、

今後利用者の様子を確認し、改めて検討していきたい。

トイレを設置し、駐車場に車いす専用スペースを2台分設けるなど、新基準を満たしている。他の施設についても点検はしている。

Q 戦没者慰靈祭について

A 村長	村の戦没者慰靈祭は、平和について考える貴重な機会として、続けていくべきと考えるが。
A 村長	村として、戦没者を慰靈するとともに、平和の大切さを後世に引き継いでいく大いに、平和の大切さを後世に引き継いでいく主旨で開催しており、今後も継続していく。

Q 面碑の周知は。

A 村長 平成2年に、海浜運動公園にある戦没者慰靈碑の周知は。出席者は減少傾向ではあるが、今後も、遺族会の意見を聞きながら、参加しやすい環境作りに努めたい。また小学生の平和学習の一環としても捉え、戦争の悲惨さや平和の大切さを後世に引き継いでいくという点も大切にしていきたい。

A 村長 現在制作中の「ふるさと読本」の中にも、戦時中の暮らしとともに、慰靈祭、平和展などについて取り上げている。



▲慰靈祭により多くの参加者を



江田加代 議員

高齢者福祉の拡充を

村長

近隣の事業者と連携しながら



▲村外のデイサービス利用

Q 第10期介護保険制度の改定に向けた話し合いが、国・社会保険審議会で進行している。

介護保険は見直しの度に悪くなっている。次の2点を求めます。

①介護サービスの利用抑制にならないよう、

広域連合や国に働きかけていただきたい。

②自動車の運転免許証返納後も外出を制限せず日常生活が過ごせるように、タクシー券の発行に加え、オンラインマントなど交通手段の導入ができないか。

A 村長

この導入については、非常に大きな力がいる。現時点では検討しないが、今後、合理的であつたり、そういう手段が必要な人が増えたなら検討すべきかなと思う。

Q 護保事業を直接やっていないので、高齢者の実態が把握できなくなつたのでは。

高齢者の実態を把握することは大切であり、しなければならないことだと思う。これから時代は、村内で一つ介護サービス提供事業所をもつて

A 日吉津村は介護保険事業を直接やっていないので、高齢者の実態が把握できなくなつたのでは。

家庭では支える人が少なくなつてるので、仕事をしながら介護をするという難しい状況が出てくると思つている。

Q 国保加入者は、自営業者、体調を悪くして離職された方、フリーランスの方、退職後の高齢者など収入の少ない方が多い。

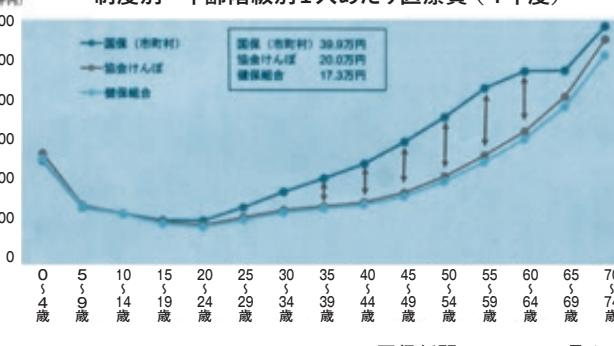
国保加入者は、負担増にならないよう努力する

ではなく、近隣の事業者の力も借りながらやつていくのが無理の形だと考えている。訪問介護は非常に大切だ。この度、村外の事業者にも加わっていただきたいので、意見を聞いてみたい。

国保の負担金は高い

	市町村国保	協会けんぽ	健保組合
加入者1人あたり 平均所得 (4年度)	96万円 1世帯あたり 143万円	175万円 1世帯あたり 279万円	245万円 1世帯あたり 418万円
保険料負担金	9.5%	7.2%	5.7%

制度別・年齢階級別1人あたり医療費(4年度)



国保新聞 2026.1.1号より

Q 国保税の算定

國保加入者は、負担増にならないよう努力する

村としてもその状況を把握しつつ、必要に応じて手当をしていくのが大切かと思う。その観点で社協や民間と連携してしっかりと支援できる体制を取りたい。

高い国保税が暮らしを圧迫している。国保税の引き下げを求める。

高齢者の実態を把握することは大切であり、しなければならないことだと思う。これから時代は、村内で一つ介護サービス提供事業所をもつて

の基になる、県への納付金の額には、医療費の額が関わってくる。今後も健康作りの取り組みを行い、できるだけ被保険者の負担増にならないような保険税設定に努力したい。

A 村長

国保税の算定

議会のうごき

が大切で
めること
識から始
めること
ある。



△講義「地方議員のなり手不足の背景を考える」
講師 拓殖大学教授 河村 和徳氏
地方議会には、改革が求められている。また「見える化」が信頼醸成のために求められている。

講師

地方公共団体政策支援機構理事 渡辺 大樹氏

議会の目的は、住民福祉の向上や地域の発達を求めることがある。現状把握・課題の認識から始めることである。

県町村議会議員研修会

とき 11月28日（金）
ところ ハワイアロハホール

木質由来のエタノールは、化石資源に代わる新たなエネルギー資源として期待されています。

米子工場の現況や環境対策について聞きました。木質由来のエタノールを製造するための世界初のパ

イロットプラントが完成し、運用を始めています。製造面やコスト面など課題の洗い出しが行われます。

王子製紙との研修会

とき 12月19日（金）
ところ 日吉津村役場会議室



会場にはご家族の姿も多くみられ、二十歳の門出を祝つておられました。今年も中学生サークル制作のフォトスポットが会場を盛り上げていました。

旧「成人式」から数えて78回目の「二十歳を祝う会」は、35名の方が参加して開催され、議長もあいさつを述べました。前日までの雪が残る日でしたが、久しぶりに出会う同級生や担任の先生と思い出話に花が咲いていました。

二十歳を祝う会

とき 1月3日（土）
ところ ヴィレステホール

表紙 消防出初め式
【議会広報広聴常任委員会】
前田 石原 浩明・斎田 光門
橋井 満義・江田 加代

表紙 消防出初め式

次回の定例会は
3月です



—石原記—

情報をお伝えできるように努めていきたいと思います。

議会もより一層皆様へ社会福祉センターの指定管理、ビスセンターの指定管理、社会福祉センターの改装など大きな変化が始まつた年でした。村の説明会が何回か開催され、村民の意見が反映される機会ともなりました。

編集後記

